

Ⅰ 今年度の学力向上に係る取組について

● EILSの本格運用がスタートしました!

今年度は、県独自の学力調査(県学診・チャレンジ・ふりかえり)を悉皆で5回、各校の実情に応じて参加できる「10分間集中テスト」を6回実施してきました。これらの調査やテストは、3月中にコンテンツバンクへ掲載予定ですので、そのまま使用したり、自由に改編して使用したりするなど、積極的に御活用ください。EILSには解答時間を明確に指定する「テスト機能」だけでなく、解答時間をある程度の範囲で指定する「宿題・課題機能」があり、この機能を活用することで臨時休業中や長期休業中の宿題・課題としても活用できます。



また、各学校においては、教員が自作した小テストやドリルの活用が進んでいます。特に中学校の技能教科(音楽、美術、保健体育、技術家庭科)においては、定期テストでの活用が進んでおり、業務負担縮減につながったとの声が多く寄せられました。



児童生徒

何度も繰り返し確認ができて復習になります。
EILSでの宿題は、先生が決めた期間内なら、何度でも解き直せるのがいいと思います。

教科担当者が校内に1名しかいないため採点に3日間かかっていましたが、EILSを使うと一瞬で終わって感動しました。



教員

● タイピングコンテストを実施しました!

これからより一層必要となってくるタイピング力(速さと正確さ)を競い合う「タイピングコンテスト」を実施しました。(令和5年2月13日~17日)

今回は希望制での実施でしたが、多くの児童生徒が挑戦しました。児童生徒の最高記録は1分間当たり290文字。1分間当たり200文字以上の児童生徒は356人と、こちらの予想を大きく超える素晴らしい結果となりました。

しかし、1分間当たり30文字以下の児童生徒も一定数存在していることから、苦手としている児童生徒への対応も必要であると考えています。

	児童生徒実施率	平均入力文字数	
		学年別	校種別
小3	66.1%	46.4字	71.2字
小4	72.0%	69.0字	
小5	80.6%	79.2字	
小6	71.9%	85.5字	
中1	50.7%	75.7字	73.6字
中2	52.1%	74.7字	
中3	34.5%	68.8字	

令和4年度 タイピングコンテスト ランキング1位			
市	町	四国中央市 ※小中合算	93.9字
小学校		八幡浜市立真穴小学校	131.8字
中学校		新居浜市立別子中学校	167.0字

※1分間当たりの「ひらがな」の文字数をカウントしています。

今後、「初級」「中級」「上級」に分かれたタイピング検定を掲載予定です。児童生徒のタイピング力の向上にぜひお役立てください。

● 「みきゃん通帳」の試験運用が始まっています！

電子版読書通帳「みきゃん通帳」は、小1～中3全ての児童生徒の読書意欲を高めることを目的に開発しました。

本格運用開始は令和5年度ですが、既に試験運用を開始しています。児童生徒と一緒に、実際に「みきゃん通帳」に触れてみて、4月からの円滑な運用に向けての各学校における使用方法の確認やルールづくりを行うなど、共通理解を図っていただきたいと考えています。



【みきゃん通帳トップ画面】

2 来年度の学力向上に係る取組について

本県では、H24年度より、学力向上5か年計画をスタートさせ、「学力向上推進主任の設置」、「県学力診断調査の作成・実施」等の取組を通じ、県・市町・学校が一体となって学力向上に努めてきました。R4年度は、第3期学力向上推進3か年計画の最終年度です。

今年度はEILSを活用し、CBT版の県独自の学力調査や日々の小テスト・ドリル・定期テスト等を実施するなど、全国に先駆けて教育のデジタル化を進めてきました。学校からは、紙テストでしか見取ることのできないアナログの部分をもより一層大切にしなければならないとの声もありました。記述させることの大切さの声も上がっており、県教育委員会でも児童生徒の学習の全てがデジタル上で完結するものではないと考えています。書いて覚えること、具体的操作の必要性、CBTの限界と可能性など、活動の一つ一つが児童生徒の何にどう役立っているのかを見取りながら、アナログとデジタルは二者択一ではなく、互いを補完するものとして、目的に応じて使い分けていくものであると改めて感じています。

そこで来年度は、資質・能力の育成に資する授業改善に視点を当て、これまで培われてきた愛媛の教育のよさとこれから築き上げていく適切なICTによる教育を効果的に組み合わせることで、更なる学校教育の質の保証・向上を目指します。

詳細については令和5年4月に公表する「第4期愛媛県学力向上推進3か年計画」でお示します。

今年度も残りわずかですが、子供たちにとって一度きりの学校生活が充実したものとなるよう、今からできることを整えていきましょう。

